

京

K

Y

O

T

O

都

い

と

と

せ

古の都でお逢いしましょう



春になれば梅や桜が咲き、  
暑き夏はまばゆい緑に包まれ、  
秋は色鮮やかな紅葉が彩り、  
冬には枯れ木の上に雪が積もる。  
日本が誇るべき四季の美しさを  
そのまま堪能できる京都。

やまとうたは、ひとのころをたねとして、  
よろづのこの葉とぞなれりける。

世中にある人、こと、わざ、しげきものなれば、心におもふことを、  
見るもの、きくものにつけて、いひいだせるなり。

古今和歌集仮名

序

桜花 春くははれる 年だにも  
人の心に あかれやはせぬ

卷一 春歌上 六十一番 伊勢



悠

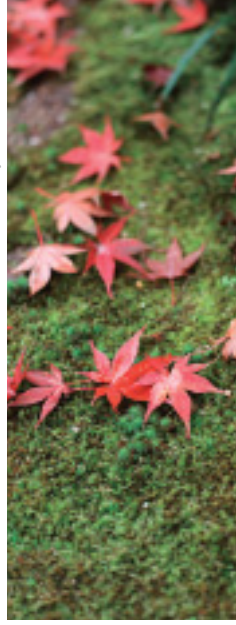
静



夏の夜は まだ宵ながら 明けぬると  
雲のいづこに 月宿るらむ

卷三 夏歌 百六十六番 清原深養父

雅



川風の 涼しくもあるか うらよする  
浪とともにや 秋は立つらむ

卷四 秋歌上 百七十番 紀貫之

冬ながら 空より花の 散りくるは  
雲のあなたは 春にやあるらむ

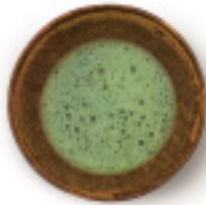
卷六 冬歌 三百三十番 清原深養父



匠



悠久の歴史の中で  
お待ちしております



財団法人 京都文化交流コンベンションビューロー

〒604-0862 京都市中京区烏丸通夷川上ル 京都商工会議所5F  
TEL. 075-212-4140 FAX. 075-212-4121